

請求の範囲

- [請求項1] 店舗が有する液体供給システムと、店舗が有する販売情報管理システムと、液体供給システム及び販売情報管理システムと通信回線を介して通信を行う管理サーバーとを備えた液体販売管理システムであって、
- 上記液体供給システムは、貯蔵容器内の液体が加圧により供給管を通して供給され冷却及び飲用容器への注出を行う注出装置と、上記飲用容器へ注出される液体量を検出する流量センサを有して上記注出装置から飲用容器へ注出した液体の実測流量を求める実流量作成部と、上記通信回線と通信を行う送受信部と、を有し、
- 上記販売情報管理システムは、液体の、一販売あたりの規定容量である販売単位容量、販売数、及び販売時刻の各情報を関連付けた販売情報を上記通信回線へ送出するシステムであり、
- 上記管理サーバーは、上記販売情報から求めた見掛け液体量と上記実測流量との差を、販売に関与しなかった液体の非販売量として求める消費量分析部を有する、
- ことを特徴とする液体販売管理システム。
- [請求項2] 上記管理サーバーは、さらに、販売時刻終了後に消費された液体量を時間外消費量として求める時間外消費量取得部を有する、請求項1に記載の液体販売管理システム。
- [請求項3] 上記時間外消費量取得部は、上記時間外消費量から、上記液体供給システムに対する1回の洗浄動作にて消費される上記液体の既知の消費量を減算する、請求項2に記載の液体販売管理システム。
- [請求項4] 上記管理サーバーは、さらに、上記販売単位容量と上記実測流量との差を、単位容量誤差として求める単位容量誤差取得部を有する、請求項1から3のいずれかに記載の液体販売管理システム。
- [請求項5] 液体メーカーに備わり上記通信回線と通信を行う分析装置をさらに備えた、請求項1から4のいずれかに記載の液体販売管理システム。

- [請求項6] 店舗が有する液体供給システムと、店舗が有する販売情報管理システムと、通信回線を介して通信を行い液体供給システム及び販売情報管理システムからの情報を格納する管理サーバーと、を備えた液体販売管理システムであって、
- 上記販売情報管理システムは、液体の、一販売あたりの規定容量である販売単位容量、販売数、及び販売時刻の各情報を関連付けた販売情報を上記通信回線へ送出するシステムであり、
- 上記液体供給システムは、
- 貯蔵容器内の液体が加圧により供給管を通して供給され冷却及び飲用容器への注出を行う注出装置と、
- 上記飲用容器へ注出される液体量を検出する流量センサを有して上記注出装置から飲用容器へ注出した液体の実測流量を求める実流量作成部と、
- 上記通信回線と通信を行う送受信部と、
- 上記管理サーバーから得た上記販売情報から求めた見掛け液体量と上記実測流量との差を、販売に関与しなかった液体の非販売量として求める消費量分析部と、を有する、
- ことを特徴とする液体販売管理システム。
- [請求項7] 上記通信回線と通信を行う分析装置をさらに備えた、請求項6に記載の液体販売管理システム。
- [請求項8] 上記液体供給システムは、さらに、上記供給管に設置され、上記注出装置から液体の注出を停止する流体ストッパ装置を有する流体流路調整装置をさらに備えた、請求項1から7のいずれかに記載の液体販売管理システム。